

職員による自己評価

A環境面

- ・職員の配置は適切である。
- ・利用定員と指導訓練室等スペースの関係は概ね適切である。

B児童への支援内容

- ・活動プログラムの立案はチームで行い、固定化されないよう工夫を行っている。
- ・支援開始前に全職員で、当日の支援内容や役割分担について必ず打ち合わせを行っている。

C関係機関との連携

- ・地域活動の交流に現状なかなか参加出来ていない為、今後の課題である。
- ・学校や連携機関とは必要に応じ連携を図っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・送迎時や面談及びLINE、電話にて日々の活動内容の報告を行い信頼関係の構築に努めている。

E非常対応

- ・緊急時対応マニュアル等を用いて説明をしていく必要がある。

保護者による評価

A環境面

- ・活動スペースは十分に確保されている
- ・部屋はやや狭めだが外出するなどの工夫がされている。
- ・職員の配置数や専門性は適切である。

B児童への支援内容

- ・活動プログラムが固定化されないように工夫されている。
- ・児童クラブや児童館との交流や障害のない子供と活動する機会に関してはいいえや知りません等の声が多かった。

C事業所からの情報発信

- ・父母会の活動支援保護者会の開催はわからないの声が多かった。

D非常対応

- ・非常災害に備え定期的に避難救出が行えている。

その他

- ・学校がある日も外出したり手作りおやつなど様々な事をして下さり感謝しています。
- ・わからない部分はチェックをいれていませんがいつもよく面倒を見て下さり感謝しております。

事業所内での分析

【共通点】

- ・アンケート結果により9割ほどの保護者様より満足とのお答えを頂いております。

【相違点】

- ・大きな相違点はございませんが引き続きお散歩等の活動も取り入れながら工夫し支援を行って参ります。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・活動プログラムの充実
外出、お散歩、おやつレクリエーションや
運動レクリエーション、食事レクリエーシ
ョンなどの工夫を行っている。
- ・キッズわん農園での活動
- ・毎日の写真を通じての活動報告
- ・SNS での情報発信
- ・

事業所の改善点

- ・非常災害時における事業所としての対応の
周知徹底

事業所の改善への取り組み

- ・非常災害時の対応の周知をを行います。
- ・引き続き写真等を用いて日々の活動等のご報告を行って参ります。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・今回のアンケートを参考により良い支援が行える様、職員一同取り組んで参ります。

事業所名 キッズわんつるみ中央

担当者 松澤